

平成 24 年 8 月 28 日

2012 年度粒子・流体プロセス部会ミキシング技術分科会第 1 回幹事会議事録

日時:平成 24 年 8 月 28 日(火)12:00-13:10

場所:メルパルク NAGOYA(夏期セミナー会場)会議室

議題:

1.夏期セミナー実施状況報告

会計を含めた実施状況について加藤幹事より報告があった。

- ・62 名参加, 30 万円強の黒字の予定

2.関西東海地区ミキシング技術サロン開催について

加藤幹事より説明があり, 以下により実施することを承認した。

- ・10 月 26 日(金)東レ株式会社名古屋事業場, 講演見学会
- ・GT 委員会, ミキシング技術分科会で十分な人数の参加が見込まれるため化工誌会告掲載は行わない。
- ・見学先の事情で同業他社の参加に制限がある

3.第 43 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会について

加藤幹事より案内があった。

4.秋季大会シンポジウム学生発表の審査について

吉川幹事より以下について説明があり, 承認した。

- ・粒子・流体プロセス部会のシンポジウムにおける学生の発表全てをプレゼンテーション賞の対象として審査
- ・ミキシングのシンポジウムでは 12 件が対象
- ・座長とオーガナイザー1 名の 2 名で審査

5.日台ミキシングジョイントセミナー実施について

東京工業大学小川名誉教授(評議員)より実施について説明があり, 以下の点を確認したうえで実施について承認した。

- ・日本側ミキシング技術分科会, 台湾側長庚大学, 国立台湾大学の共同主催, 日本の化学工学会, 台湾の化学工程学会の協賛とする。
- ・開催日を 2013 年 3 月 4 日, 5 日の 2 日間とする。
- ・登録料などは台湾側が徴収し, National Science Council(NSC)からの補助と合わせて必要な支出をその合計金額で賄う。
- ・日本側は日本国内企業のプロシーディング掲載広告を募り, その収入を管理し, 登録料, 補助で不足する分を負担する。
- ・平成 25 年 3 月実施のため, セミナーの収支については来年度会計となるが, 事前

に予算案について幹事会の承認を受け、3月に予定されている幹事会、総会で改めて収支を報告、承認を受ける。

- ・9月に分科会員に発表及び参加募集の案内を行う。
- ・発表者には Extended Abstract(A4判2枚程度)を12月半ばをめぐりに提出してもらい、プロシーディングに掲載する。Extended AbstractはAbstract1段本文2段とし、行間など書式はJ.Chem.Eng.Jに倣うものとする

6.海外渡航費について

近年円滑に運用されていなかった海外渡航費制度について意見交換した。その結果、収支状況が厳しいことと、渡航費補助を行う意義が薄れてきているなどの意見が多く、廃止の方向で今後手続きを進めることを確認した。この件、本年度中は渡航費補助を保留とし、来年3月の幹事会、総会で改めて諮ることを確認した。

7.その他

- ・ミキシングサロンの準備状況について梶原幹事(九州)、高橋幹事(東日本)より報告があった。
- ・高橋幹事より韓国 Gyeong Sang National University(慶尚大学校)の Wook Ryol Hwang 先生が中心となってミキシング研究のグループを組織する計画があるとの報告があり、今後協力していくことを確認した。